Management Club Report

May.2016/Vol.161

Monthly Opinion　≪学歴無用 but 学力有用論≫

どこそこの何々医院と言うことはできませんが、スタッフの中に教養をまったく感じさせない人が何人か存在する歯科医院に出会うことがあります。勿論、大多数のスタッフは医療現場に相応しい身嗜みと言動が身に付き、信頼感がオーラとなって周囲に放たれているのですが、無教養を絵に描いたようなどうしようもないスタッフが数人いるだけでその歯科医院の品質は暴落してしまうのです。

ここでいう教養とは「教養をひけらかす厭なヤツ」というように使われる、ちょっとした知識や学歴を指してはいません。むしろそのようなことを得意気に吹聴したりはしない奥ゆかしさを身につけていることを指しますが、歯科医院で見かける無教養なスタッフというのは、ひけらかす知識はありませんが、派手に染め上げおしゃれっぽく垂らした髪に厚化粧と、派手に伸ばした爪をひけらかし、言葉遣いや行動振りは雑といった人種です。

こういうスタッフのいる歯科医院に出くわすと、「何であの人を採用したのですか？」院長にそう聞いてしまいたくなります。院長も問題意識を持っているようでそのようなスタッフを新人研修に派遣してきます。何とかまともにしたいと思っているのだなとは思うのですが、１回くらいの公開セミナーに出て講師の指導を受けたからといって直ることは奇跡に近い話です。個別に訪問し１年間、毎月耳にタコができるくらい厳しく言ってやっと直る人が３割いるかいないか。あとはまず直りません。

誤解を避けるために言いますが、そういう人は人間失格などと言っているわけではありません。もっと生かされて活躍すべき場所は別途存在しますのでそのような職業に就くべきで、少なくとも歯科医院を職場としてはいけないと言っているだけで、採用するほうもそこを考えるべきなのです。

1　品格と教養を感じさせない身嗜みのスタッフ

年令や趣味によって異なる個人の主観

この『派手な身嗜みと雑な言動』なるものは、一体どういうような状態を表している言葉なのか、極めて曖昧です。言ってみれば「派手」とか「雑」という評価は個人の主観によるものですから、感じる人によって異なりますので、そもそ